

茨城県土地開発公社について ~北関東自動車道、東関東自動車道の用地取得に貢献~ 渡邊 一夫氏 × 石川 博章氏 元県開発公社理事長



いばらきの公共事業を紐解く

地権者576人から100ha超を売買契約

私達は平成24年4月から2年間、参事兼公共用地室長として土地開発公社に出向してまいりました。当時、東関東自動車道水戸線は茨城県内約51kmのうち、千葉県境から潮来ICまでの約2kmと、茨城空港北ICから茨城町JCTまでの約9kmが開通し、銚子ICから茨城空港北ICまでの約9km区間は、東日本高速道路株式会社によって用地買収が進められていました。さらに、潮来ICから銚子ICまでの約31km区間については、直轄施行区間として国(常総国道事務所)が用地測量を実施してまいりました。

設立時から用買関わる

茨城県土地開発公社は「公有地の拡大の推進に関する法律(公法)」を設け、平成24年4月設立されました。道路の取得、造成、管理や処分など立根拠として、平成24年4月設立されたばかりの東関東自動車道の全線供用が間近となつていす。長い年月がかかりましたが、茨城県の4本の高速道路(常磐道、北関東道、圏央道、東関東道)がいよいよ完成するのです。この連載も残り2回となりました。今回、そして次回はこの高速道路の用地取得に大きく関わった土地開発公社の話をしていきたいと思います。(弊社HPに掲載)



茨城の公共・公益事業 ~歴史をたどり、後世に残す~ 県開発公社理事長・土地開発公社理事長編⑥

いろいろな業務に携わりましたが、当時の特にお話したいと思っております。一志目は、北関東自動車道の水戸南ICから友部ICまでの約21.7km区間の用地取得業務を、道路公団から土地開発公社が受託したことです。大急ぎで県、水戸市、茨城町、友部町から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

この直轄施行区間約31kmについて、平成24年3月に国から県および地元潮来市、行方市、銚子市に事業促進の協力依頼がありました。県と3市で協議し、県の土地開発公社を活用して県と市が一体となり、一括して受託するほうが効率的で、田舎に用地取得を進めることが可能であるとの結論に至り、3年間で総額80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。



地権者の皆様からは、色んな条件は出されましたが、用地買収は順調に進み、まとまったところから公団が仕事を着手していったのです。この区間の早期供用のお役に立てて良かったと思っております。

2年間で約80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。さっそく北関東道同様、県および地元潮来市、行方市、銚子市から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

その後の、この土地には「ジョイフル本田」さんや「コストコ」さんなどに立地したため、未処分地は現在7haのみとなっております。大変な賑わいを見せております。

2年間で約80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。さっそく北関東道同様、県および地元潮来市、行方市、銚子市から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

購入が完了させられるか多少不安はありました。用地買収は順調に進み、まとまったところから公団が仕事を着手していったのです。この区間の早期供用のお役に立てて良かったと思っております。

2年間で約80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。さっそく北関東道同様、県および地元潮来市、行方市、銚子市から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

その後の、この土地には「ジョイフル本田」さんや「コストコ」さんなどに立地したため、未処分地は現在7haのみとなっております。大変な賑わいを見せております。

2年間で約80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。さっそく北関東道同様、県および地元潮来市、行方市、銚子市から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

購入が完了させられるか多少不安はありました。用地買収は順調に進み、まとまったところから公団が仕事を着手していったのです。この区間の早期供用のお役に立てて良かったと思っております。

2年間で約80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。さっそく北関東道同様、県および地元潮来市、行方市、銚子市から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

その後の、この土地には「ジョイフル本田」さんや「コストコ」さんなどに立地したため、未処分地は現在7haのみとなっております。大変な賑わいを見せております。

2年間で約80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。さっそく北関東道同様、県および地元潮来市、行方市、銚子市から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

北関東 水戸南ICから友部IC間約21km

関係職員を派遣、組織拡充

購入が完了させられるか多少不安はありました。用地買収は順調に進み、まとまったところから公団が仕事を着手していったのです。この区間の早期供用のお役に立てて良かったと思っております。

2年間で約80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。さっそく北関東道同様、県および地元潮来市、行方市、銚子市から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

その後の、この土地には「ジョイフル本田」さんや「コストコ」さんなどに立地したため、未処分地は現在7haのみとなっております。大変な賑わいを見せております。

2年間で約80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。さっそく北関東道同様、県および地元潮来市、行方市、銚子市から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

購入が完了させられるか多少不安はありました。用地買収は順調に進み、まとまったところから公団が仕事を着手していったのです。この区間の早期供用のお役に立てて良かったと思っております。

2年間で約80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。さっそく北関東道同様、県および地元潮来市、行方市、銚子市から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

その後の、この土地には「ジョイフル本田」さんや「コストコ」さんなどに立地したため、未処分地は現在7haのみとなっております。大変な賑わいを見せております。

2年間で約80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。さっそく北関東道同様、県および地元潮来市、行方市、銚子市から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

購入が完了させられるか多少不安はありました。用地買収は順調に進み、まとまったところから公団が仕事を着手していったのです。この区間の早期供用のお役に立てて良かったと思っております。

2年間で約80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。さっそく北関東道同様、県および地元潮来市、行方市、銚子市から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

東関東 潮来ICから銚子IC間約31km

3年間で80億の業務受託

購入が完了させられるか多少不安はありました。用地買収は順調に進み、まとまったところから公団が仕事を着手していったのです。この区間の早期供用のお役に立てて良かったと思っております。

2年間で約80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。さっそく北関東道同様、県および地元潮来市、行方市、銚子市から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

その後の、この土地には「ジョイフル本田」さんや「コストコ」さんなどに立地したため、未処分地は現在7haのみとなっております。大変な賑わいを見せております。

2年間で約80億円の用地取得業務を、土地開発公社が受託することになったのです。さっそく北関東道同様、県および地元潮来市、行方市、銚子市から職員を派遣していただき、組織を拡充して対応取得を受託

いばらきの公共事業を紐解く

石川 博章(いしかわ ひろあき) 1961年5月4日生まれ、63歳。85年、県陸田田工事事務所長、都市計画課長、その後常務理事、2022年に定年を迎え、現在は日本ダイアコンサルタンツ(株)に勤めている。

いばらきの公共・公益事業

2023年(令和5年)1月からシリーズ化し、2024年(令和6年)12月をもって、全50回の新聞連載が終了する「茨城の公共・公益事業」~歴史をたどり、後世に残す~が、ご購読者様からの好評により、書籍化を決定。年明け1月、いよいよ1冊の本として、発行致します。茨城県の土木行政に深く携わり、数えきれないほど多くの工事を手掛けてきた渡邊一夫さん(弊社顧問)と、その工事に関わった人たちが語る思い深い工事、その経緯・歴史を記録として残しました。公共事業の推進にロマンを抱き、県土発展と地域の財産を築き上げた人たちの大きな物語です。どうぞ、手にとってお読みください。

先行予約 受付中 ご予約期限 2024年12月27日(金)まで 本体価格3,000円(税込)のところ 期間限定1,500円(税込)でご提供 申込書はHPよりダウンロード